

第6回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和2年7月3日(金)
開会14時30分 閉会16時21分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者
- | | |
|--------------|------------|
| 教育長 | 鍵本 芳明 |
| 委員(教育長職務代理者) | 田野 美佐 |
| 委員(教育長職務代理者) | 松田 欣也 |
| 委員 | 梶谷 俊介 |
| 委員 | 上地 玲子 |
| 委員 | 服部 俊也 |
| 教育次長 | 池永 亘 |
| 教育次長 | 高見 英樹 |
| 教育政策課 | 課長 大西 治郎 |
| | 副課長 細川 誠 |
| | 総括主幹 土井 隆史 |
| 財務課 | 課長 中山 均 |
| 高校教育課 | 課長 中村 正芳 |
| 特別支援教育課 | 課長 中村 誉 |
| 生涯学習課 | 課長 栗原 宏之 |
| 文化財課 | 課長 小林 申明 |
- 4 傍聴の状況 1名
- 5 附議事項
- (1) 令和3年度岡山県立高等学校入学者選抜実施大要について
 - (2) 令和3年度岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜実施大要について
 - (3) 令和3年度岡山県立高等支援学校及び岡山県立特別支援学校高等部本科普通科職業コース並びに岡山県立特別支援学校高等部(本科・専攻科)入学者選抜実施大要について
 - (4) 岡山県生涯学習審議会委員及び岡山県社会教育委員の任命等について
 - (5) 岡山県文化財保護審議会委員の任命について
- 6 協議事項
- (1) 「第3次岡山県教育振興基本計画(仮称)」の骨子案について
- 7 報告事項
- (1) 令和2年度6月補正予算額(追加分)について

8 議事の概要

開会

非公開案件の採決

(教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。本日の議題のうち、附議事項（４）（５）は、人事に関する案件であることから、教育委員会会議規則第１２条に基づき、非公開とするよう発議する。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

(委員全員)

(特になし)

(教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。

附議事項（４）（５）は、非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、本案件は非公開とすることに決した。

附議事項（１）令和３年度岡山県立高等学校入学者選抜実施大要について

・高校教育課長から資料により一括説明

(委員)

実施大要の別表１について、字のサイズが小さく見えづらい箇所がある。生徒・保護者及び学校関係者が見やすいようにして欲しい。

(高校教育課長)

検討してまいりたい。

(委員)

海外帰国生徒のための入学者選抜について、４校で実施されているが、どの程度の方が出願されているのか。

(高校教育課長)

昨年度実績では、県全体の志願者が６名、そのうち３名が合格内定となっている。

(教育長)

これより採決に入る。議第３号について、原案に賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、議第３号は原案のとおり決した。

附議事項（２）令和３年度岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜実施大要について

・ 高校教育課長から資料により一括説明

(委員)

大要の「1 選抜の方針」について、選抜は「小学校若しくはこれに準ずる学校の校長」から提出される資料等により判断することになっているが、この「準ずる学校」とは、どの学校を指すのか。

(高校教育課長)

海外日本人学校やインターナショナルスクール等である。

(教育長)

これより採決に入る。議第4号について、原案に賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、議第4号は原案のとおり決した。

附議事項(3) 令和3年度岡山県立高等支援学校及び岡山県立特別支援学校高等部本科
普通科職業コース並びに岡山県立特別支援学校高等部(本科・専攻科)
入学者選抜実施大要について

・ 特別支援教育課長から資料により一括説明

(委員)

特別支援学校高等部(本科・専攻科)入学者選抜実施大要について、今回から通学区域が一部変更されるため、生徒・保護者及び学校関係者への周知を丁寧に行って欲しい。

(特別支援教育課長)

大要の公表に際して、県内全ての中学校担当者を対象とした説明会の実施や、ホームページへの掲載等、周知に努めてまいりたい。

(教育長)

これより採決に入る。議第5号について、原案に賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、議第5号は原案のとおり決した。

協議事項(1) 「第3次岡山県教育振興基本計画(仮称)」の骨子案について

・ 教育政策課長から資料により一括説明

(委員)

新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」をもっと前面に記述して欲しい。

(教育政策課長)

様々な項目に関係するため、どういった箇所に記述できるか検討してまいりたい。

(委員)

9頁(3)「国際的に活躍できる人材の育成」について、施策の方向性として、語学力・コミュニケーション能力・国際理解の精神等を備えた人材の育成を目指しているが、そういった人材育成の基盤には、異質な文化を理解するための判断基準

となる自身の価値観や哲学等のアイデンティティを育む必要があり、現在の記述では伝わりにくいため、工夫して欲しい。

(教育政策課長)

各自のアイデンティティを育む必要性については認識しており、内容が十分に伝わるように、記述内容を検討してまいりたい。

(委員)

同頁の記述について、「日本人としてのアイデンティティを持ち」とあるが、現在国内及び県内においても外国籍の子どもが増えており、様々な子どもたちが、教育を受けていることから、「日本人」だけにならないよう、記述を工夫して欲しい。

(教育政策課長)

検討してまいりたい。

(委員)

3頁1(2)「不登校を生まない学校づくりの推進」について、施策の方向として、「長期欠席・不登校等を生まない」とあるが、新型コロナウイルス感染症対応に伴う休業措置等の影響により、ICT環境整備が進み、自宅にいてもオンライン授業等が受けられる状況になれば、学校に行かなければならないという考えも変わってくるのではないか。これからは多様な学び方から選択できる社会になると思うが、いかがか。

(委員)

表現の問題にはなるが、「不登校を生まない魅力ある学校づくり」より、「子どもたちが行きたくなる学校づくり」を目指して欲しい。

(教育政策課長)

現状としては、学校に登校して教育を受けることが基本ではあるが、ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響等で、考え方は変わる可能性はある。骨子案における記述については、検討してまいりたい。

(委員)

4頁(3)「教師の教える技術の向上と優れた人材の確保」について、短い文章の中で、県教委としての思いを伝えるのは難しいと思うが、求める人材について、伝え方を工夫して欲しい。

(教育長)

今回の骨子案のポイントとして「夢育」を掲げており、その内容も踏まえて「魅力ある人材の確保」等、記述内容について検討したい。

(委員全員)

了 承

報告事項(1) 令和2年度6月補正予算額(追加分)について

・財務課長から資料により一括説明

(委員)

今回の補正予算において、学習支援員等の配置に伴う人件費が盛り込まれているが、新型コロナウイルス感染症への対応のために行った学校の休業措置により、非常勤講師等の人件費が抑えられている部分はあるのか。

(財務課長)

非常勤講師については、文部科学省から働く場の確保を図るため、教材研究や配

付プリント作成等、この度の休業期間中におても、必要な業務のために勤務することは可能との通知が出されており、本県においても同様の取扱を行っているため、休業措置により、人件費の抑制にはつながっていない。

(委員全員)

了 承

以下、非公開のため省略。

閉会